

# 冬休みの推せん図書(5・6年)

令和4年 12月 杉教研学校図書館部

冬休みがすぐそこにせまり、ワクワクしているあなた。寒くてお家でゆっくり過ごす時こそ読書のチャンスです。ぜひ時間を見つけて読んでみてください。

	<h2>クリスマス・ピッグ</h2>	
	J. K. ローリング	静山社
	<p>ジャックは、小さいころから大事にしていたぬいぐるみのぶた「DP」をクリスマス・イブに捨てられてしまいます。代わりにやってきたクリスマス・ピッグ（CP）といっしょに、魔法の世界「失の国」へ出かけるジャック。おもちゃを食べてしまう怪物「失」からDPを助けることができるのでしょうか？ハラハラドキドキの連続、クリスマス・イブの不思議なお話です。</p>	
	<h2>なぜ学ぶのか</h2>	
	板倉 聖宜	仮説社
	<p>「なぜ学ぶのか？」と聞かれたら、みなさんは何と答えますか？勉強するというのはどういうことか？何のためにするのか？どういう良いことがあるのか？勉強することで悪いこともあるのか？こういったことを考えたことがある人もいます。板倉聖宜さんという科学者が、こうした質問に対していろいろな視点から答えてくれるのがこの本です。「なるほど！こんな考え方もあるのか！？」そんなふうに思いながら読んでみると新しい発見があります。</p>	
	<h2>十年屋 時の魔法はいかがでしょう？</h2>	
	廣嶋 玲子	静山社
	<p>小さなころからずっと大事にしていたぬいぐるみ、大好きなひとからもらった写真、会えなくなった友だちに見せたかった雪だるま。忘れたくても忘れられない大切なもの、思い出と一緒に、魔法でお預かりします——。「銭天堂」「もののけ屋」シリーズの作者がおくる、心あたたまる物語シリーズ第一巻です。</p>	

## モーツァルトはおことわり

マイケル・モーパゴ

岩崎書店

世界的バイオリニストのパオロは、決してモーツァルトを演奏しない。なぜって？それは、ドイツのナチス強制収容所で起きた悲しい出来事に関係がある。生きるために演奏をつづけた音楽家を通して、戦争について考えてみてはいかがでしょうか。

## 子どもの本で平和をつくる

キャシー・ステインソン

小学館

第二次世界大戦後、混乱した街中で大きな建物の前に人々の列を見つけた少女は、弟の手を引いて建物に入りました。するとそこにはたくさんの本が並べてありました。そして、そこですてきな女性と出会います。その人こそ、イエラ・レップマンでした。ユダヤ人であるイエラは、第二次世界大戦後、混乱したドイツに戻り、子どもたちに希望を与えることこそ大切であると痛感します。「本」の力を信じ、「本」を通して世界平和を目指したイエラの信念を感じるお話です。絵本だからこそ描ける幻想的ファンタジックな風景も魅力です。

## 目で見えるSDG s時代の生物多様性

ジェス・フレンチ

さ・え・ら書房

地球上では、様々な生き物が関わり合って生きています。その命のつながり、生物多様性が失われてきていると言われていています。今、何が起きているのか、何が問題で、何をしなければいけないのか、SDG sの目標にもかかわる大きな問題について、一緒に勉強しましょう。そして、自分に何ができるのか、考えてみてください。

### <その他のおすすめ>

本の名前	著者名	出版社
探検！いっちょかみスクール 怪盗の後継者編	宗田 理	静山社
るぶ どこからきたの？食べもの&くらし イラスト大図鑑		JTBパブリッシング
だれよりも速く走る義足の研究	遠藤 謙	偕成社
金曜日のヤマアラシ	蓼内 明子	アリス館
こそあどの森のおとなたちが子どもだったころ	岡田 淳	理論社
探偵 vs 怪盗 謎解き推理バトル	桐谷 直	ナツメ社
はじめての夏とキセキのたまご	麻生 かづこ	ポプラ社
風の神送れよ	熊谷 千世子	小峰書店
エネルギーって何だろう？持続可能な地球のために考えよう	小池 康郎	PHP 研究所
10歳からの図解でわかるSDG sアクション	平本 督太郎	ユニバーサルコンテンツ